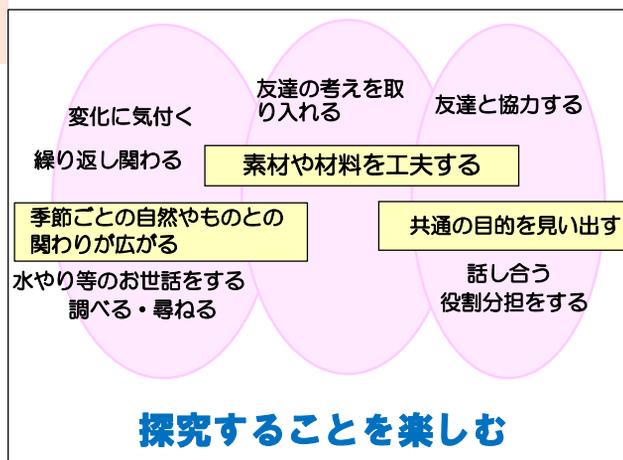


事例17:「たくさん野菜がとれたよ」 5歳児(7月)

幼児期の終わりまでに育ててほしい姿(10の姿)との関連

- ①健康な心と体③協同性⑦自然との関わり・生命尊重
- ⑧数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
- ⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現

架け橋期のカリキュラムとの関連
(遊びの中で経験させたいプロセス)



これまでの姿

5月末、育てたい夏野菜を子ども達と一緒に図鑑で調べたり、意見を出し合ったりして決め、9種類の苗を園庭の花壇に植えた。毎日、生長を観察しながら水やりをしたり、植えた野菜の看板を協力して作ったりして、収穫を楽しみに世話をした。

7月に入って子ども達と話し合い、育った野菜を順番に当番が収穫するようになった。

◎ねらい◎内容

◎夏野菜の生長に興味・関心をもち、収穫の喜びを味わう。

○野菜の生長過程や形のおもしろさ、大きさ、重さ、数量などに関心をもちながら収穫する。

○収穫の喜びや満足感、達成感を感じながら、食することを楽しみにする。

遊びの様子(番号:10の姿との関連)

①⑦「収穫してきたよ！」とかごにいっぱいに入った野菜を持って当番の子ども達が部屋へ戻ってきた。その声を聞いて他の子ども達も集まってきた。保育者が「すごいね！どんなお野菜がとれたの？」と尋ねると⑦⑩A児、B児、C児がかごから1つずつ取ってピーマン、ナス、長ナス、トマト、オクラ、サヤインゲンを種類ごとに机に並べ始めた。

保育者が「すごい！たくさんとれたね」と言うと、周りに集まってきた子ども達も⑧⑨「このナス、長いねえ」「このオクラ、おっきい」「サヤインゲン、すごいいっぱいある！」「ほんまや、すごいね！」と感動したことや驚いたことを口々に伝えていた。A児が⑥⑧「どれくらいとれたか数えてみようや」と言ってB児とC児と一緒に数え始めた。「1・2・3・4・5……36・37！めっちゃあるじゃん！」と3人で顔を見合わせて微笑んだ。

⑥⑧採れた喜びを共有する野菜表があるとよいのではないかと思い、提案すると、D児とE児が野菜表の横にお知らせボードを作り始めた。ダンボールに文字や絵を描いて作っていたD児とE児は、数え終わったA児達に⑥⑨「とった野菜を色鉛筆で塗ってよ。看板できたら色塗り手伝うき」と声を掛けて一緒に手伝いながら野菜のイラストの絵を塗り、野菜表に貼った。



★環境の構成 ○保育者の関わり

★収穫した野菜を入れるかご、ハサミを用意しておく。

○収穫して戻ってきた子ども達の嬉しい気持ちや、どのような野菜がいくつ採れたのかを見ている子ども達の姿や心情に共感する。

○野菜を置く机は、野菜の形や大きさなどの違いを見たり、手に取ったりすることでそれぞれの野菜に興味・関心もてるように横並びに配置する。

○友達と一緒に声を合わせて数えている姿を見守り、自分達で数えられたという達成感や満足感を味わえるようにする。

★ダンボールと模造紙、各野菜のイラストの用紙、マーカー、ひらがな表を準備する。

○看板を自分達で考えて作っている姿を見守りながら、文字の書き方など困っているときは必要に応じて援助をする。

「たくさん野菜がとれたよ」
活動のプロセス

栽培活動を通して、自分達で夏野菜を育てることができた喜びや達成感、満足感を味わう

★収穫した感動を友達と一緒に共有する場の設定、環境構成を考える。

野菜を収穫する

○意欲的に世話をする姿を見守り、それぞれの野菜の生長の変化や発見、気付きを見逃さないようにする。

育てたい夏野菜を決定する苗を協力して植える

★図鑑を用意する。

育てたい夏野菜を考える

⑨言葉による伝え合い
友達と一緒に声を合わせて数えたり、友達に自分の思っていることや考えを声に出して伝えたりすることで心を通わすことができ、活動を楽しんでいる。

⑧数量や図形、標識や文字などへの
関心・感覚

収穫した野菜の形や大きさの違いに気付いたり、野菜を種類ごとに数えたりすることなど数の認識もできている。意欲的に看板作りに取り組み、友達と交代で書いたり文字を書くことを楽しんでいたりしている。



⑩協同性

自分の思いや考えを友達と共有し、野菜表を作るという目的に向かって役割分担しながら協力して仕上げ、達成感を味わっている。それぞれ役割分担し、協同して活動することの楽しさを感じている。

①健康な心と体

野菜に関心を持ち、毎日、進んで水やりなど愛情をもって世話をしながら、生長過程を観察している。収穫から食するまでを経験することで自分達で生活を作りだしている。

⑦自然との関わり・生命尊重

自分達で世話をした野菜がどのように生長していくのか変化を感じ取り、関心をもって関わっている。

⑩豊かな感性と表現

野菜表やお知らせボードで野菜がたくさん採れたことの喜びを味わっている。

小学校教員の気付き

◆「野菜を数えてみたい」という子どもの必要感から数への興味が湧いたり、表にすることでたくさん採れた喜びをみんなで共有できる気付きがあったりと遊びや生活の中で実感を伴いながら数や表に表すことのよさを感じました。算数科などの教科へのつながりが見られると思いました。

◆写真を見ると、オクラやナス、ピーマンの端をそろえて並べています。長さを比べるときには、端を揃えないと直接比較できないことを生活の中で経験しているのですね。このことが、比べるときには、何かを揃える必要があるという条件制御の考え方につながっていくのだと思いました。

保護者への発信ポイント

◆自分達で育てたい夏野菜を考え世話をし、生長を見ていくことで、野菜への興味・関心をもつようになります。その興味・関心を通じて、食育を大切にする態度を育てていきます。

また、収穫した野菜の形や種類ごとに教えたり表にしたりすることで、文字や数字などに親しみ、「自分で数えたい」「書きたい」という気持ちにつながっていきます。

◆野菜の栽培や収穫は、子ども達の家庭生活における食育につながる身近な題材です。ドキュメンテーションを使って野菜の生長と子どもたちの姿を伝えたり、調理員と連携し育てた野菜を使ったレシピを紹介したりするなど、親子で食育を楽しめる発信をしましょう。

